

道路整備アクションプラン

1. 道路整備アクションプラン2028（R7～R10）の状況

項目		令和6年度末 (策定時)	令和7年度末 見込み (A)	令和8年度 事業量 (B)	令和8年度末 予定 (A) + (B)	令和10年度末 目標
生活関連経路のバリアフリー化された割合※1	%	96	96.7	0.2	96.9	99
整備延長	km	47.6	47.7	0.1	47.8	49.0
歩道へのベンチ設置数	基	394	577	56	633	879
小学校周辺の歩車分離率※2	%	82	83.5	1.3	84.8	91
整備延長	km	290.1	294.3	4.8	299.1	321.9
ゾーン30プラスの設定地区数	地区	6	12	5	17	36
都市計画道路の整備率※3	%	85.3	85.7	0.4	86.1	86.5
道路を活用したにぎわいづくり※4	件/年	7	9	11	11	14
無電柱化推進計画に基づく無電柱化整備延長	km	165	168.4	2.9	171.3	187
橋梁耐震補強計画に基づく耐震補強完了橋梁数	橋	0	6	1	7	25
道路施設アセットマネジメント個別施設計画に基づく橋梁修繕数	橋	13	21	21	42	63
市民等との共働による道路保全活動団体数※5	団体	25	25	4	29	37
自転車通行空間の整備延長	km	152	163.6	12.7	176.3	190
道路照明灯のLED化率※6	%	91	94.5	5.5	100.0	100
LED照明灯数	基	34,822	35,935	2,098	38,033	38,033
路面温度上昇を抑制する舗装の導入		-	-	-	-	導入

※1 バリアフリー化された延長÷生活関連経路全延長49.3km（直轄道路、臨港道路等除く）

※2 通学路を含む小学校から半径250mの道路のうち、歩車分離された延長÷全延長352.6km

※3 都市計画道路の整備状況（整備済延長：車道・歩道の両方が整備完了した延長）

項目		令和7年度末 見込み	令和8年度末 予定	前年比
計画道路延長	km	506.3	506.3	0.0
整備済延長	km	434.1	435.8	1.7

※4 1年間における歩行者利便増進道路（ほこみち）制度の活用実績数

※5 道路サポーター制度の登録団体数

※6 LED照明灯数÷市管理の照明灯数38,033基

2. 令和8年度に供用開始する予定の主な路線等

〔道路事業〕

(都) アイランド東1号線	L= 453m
(主) 福岡直方線（松崎団地入口交差点）	L= 50m
(都) 粕屋久山線（土井）	L= 250m
(都) 西鉄天神大牟田線 側道17号線 外	L= 1,430m
(県) 山田中原福岡線（五十川1丁目交差点）	L= 60m
(県) 後野福岡線（屋形原1丁目交差点）	L= 70m
(市) 千代今宿線	L= 150m

〔自転車通行空間〕

(市) 姪浜小田部線	L= 460m
(整備延長は片側460×2=920m)	
(市) 徳永1号線	L= 550m
(整備延長は片側550×2=1,100m)	

西鉄天神大牟田線連続立体交差事業（雑餉隈駅付近）

1. 目的

踏切での交通渋滞や事故の解消を図り、鉄道により分断された市街地を一体化するなど、沿線地域の良好な住環境を形成するため鉄道の高架化を行うもの。また、併せて側道整備を行い、沿線の交通の利便性や安全性を高めるとともに、駅へのアクセス性を高め、公共交通の利用促進を図るもの。

2. 事業概要

事業内容	延長	L=1,864m		
	区間	博多区南八幡町二丁目 ～ 博多区西春町二丁目		
	除却踏切数	7箇所（うちボトルネック踏切5箇所）	立体交差道路	11箇所
	施行方法	仮線方式及び直上方式		
事業年度	平成22年度～令和8年度（変更前 令和7年度）			
全体事業費	変更後 約458億円（福岡市負担約381億円、西鉄負担約77億円）			

（変更前 約456億円（福岡市負担約379億円、西鉄負担約77億円）
※事業費変更の主な理由
工事原価及び用地単価の上昇等

3. 進捗状況

年 度	内 容
平成19年度	都市計画決定（平成20年3月24日）
平成22年度	都市計画事業認可（平成22年7月23日）基本協定締結（平成22年11月2日）
平成23年度	工事着手（平成24年1月）
平成26年度	新駅に関する都市計画変更（平成26年4月3日）
平成27年度	新駅に関する都市計画事業認可変更（平成27年7月3日）
平成29年度	雑餉隈駅 仮平面駅 利用開始（平成30年1月27日）
平成30年度	筑紫通り（麦野跨線橋）仮設道路切替（平成31年2月10日）
令和2年度	事業期間に関する都市計画事業認可変更（令和3年3月26日）
令和4年度	高架切替（令和4年8月28日）及び筑紫通り供用（令和4年9月30日）
令和5年度	桜並木駅（新駅）開業（令和6年3月16日）
令和6年度	鉄道高架工事完成（令和6年11月）
令和7年度	側道16号線・側道21号線工事完成（令和8年3月）

4. 令和8年度 事業費及び事業内容

事業費・進捗率		（単位：百万円）	
	令和8年度 (A)	令和7年度末 (B)	令和8年度末 (A) + (B)
事業費	53	38,041	38,094
進捗率(%)	—	99.9%	100.0%

事業内容

側道関連工事 等

5. 平面図等

●平面図



●事業状況



●関連事業（福岡県施行連続立体交差事業）



福岡高速3号線延伸事業

1. 目的

福岡市の南部地域や太宰府方面から空港へのアクセス強化を図り、空港周辺道路の混雑緩和にも資するもの。

2. 事業概要

事業内容	路線名	福岡高速3号線			
	計画概要	延長	約1.8km (連結路約0.4kmを含む)	主たる構造	高架構造・地下構造
		車線数	4車線	道路の区分	第2種第2級
		設計速度	60km/h	JCT/出入口	豊ジャンクション (仮称)空港北ランプ
事業年度	令和3年度～令和12年度(予定)				
事業主体	福岡北九州高速道路公社(有料道路事業)				
概算建設費	約470億円(公社経費約62億円は含まない)				

3. 進捗状況

年度	内 容
平成27年度	市道路線認定(平成28年1月14日) 福岡北九州高速道路公社 基本計画変更認可(平成28年3月28日)
令和2年度	都市計画決定(令和2年6月29日) 自動車専用道路指定(令和2年7月31日)
令和3年度	福岡北九州高速道路公社 整備計画変更許可(令和3年5月19日) 都市計画事業認可(令和3年7月12日)

4. 令和8年度 事業費及び事業内容

福岡北九州高速道路公社 事業費

(単位:百万円)

	令和8年度 (A)	令和7年度末 (B)	令和8年度末 (A) + (B)
有料道路事業	3,760	15,200	18,960
進捗率	—	28.5%	35.6%

事業費のうち市貸付金・出資金

(単位:百万円)

	令和8年度 (A)	令和7年度末 (B)	令和8年度末 (A) + (B)
貸付金 (有料道路事業の17.5%)	658	2,660	3,318
出資金 (有料道路事業の7.5%)	282	1,140	1,422
合計	940	3,800	4,740

事業内容

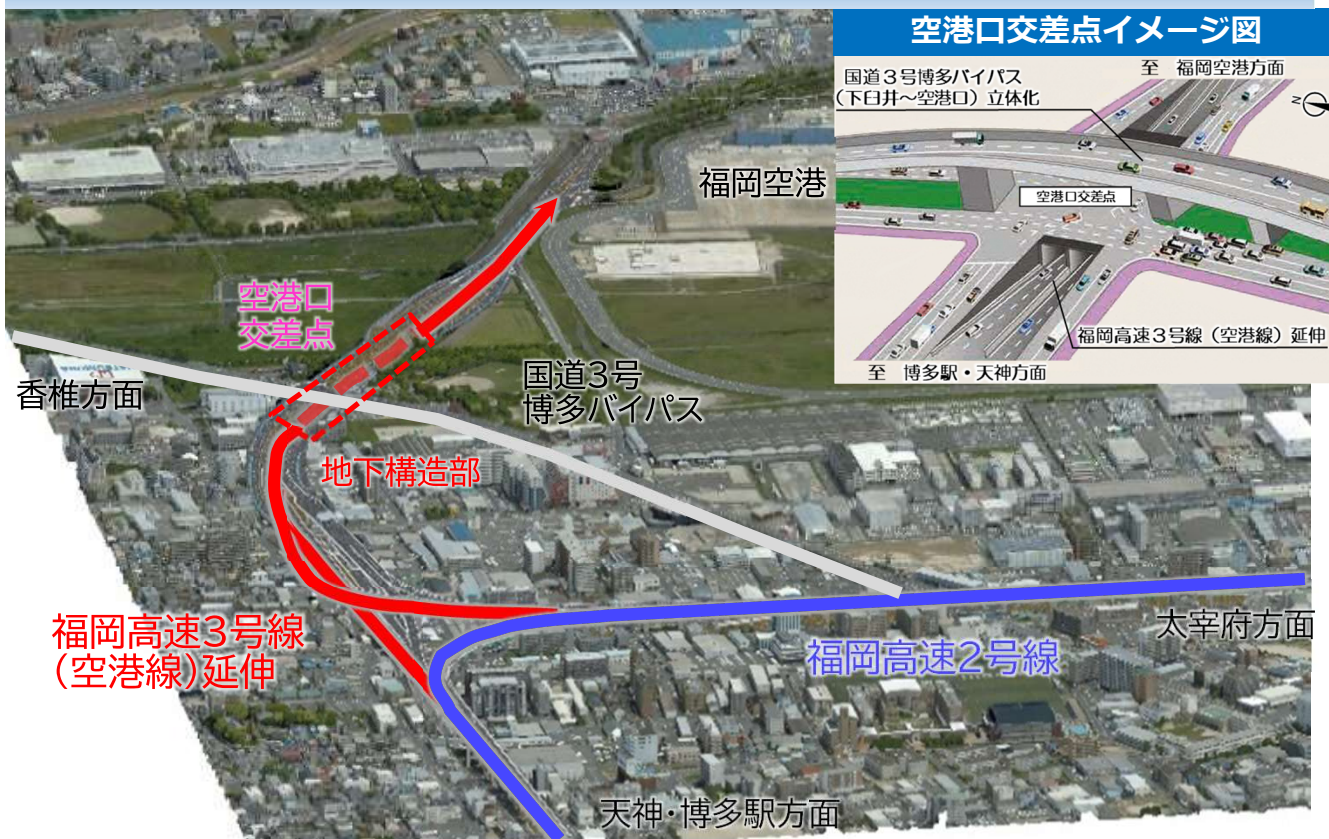
用地買収・工事等

5. 概要図及びイメージ図

概要図



イメージ図



自転車活用の推進

1. 目的

令和7年9月に策定した「福岡市自転車活用推進計画」に基づき、「はしる」、「とめる」、「まもる」、「いかす」の4つの観点による施策を進め総合的に自転車活用を推進していく。

はしる **自転車通行環境の創出**
基本方針:安全で快適な通行環境づくり

まもる **自転車利用の適正化**
基本方針:適正な自転車利用の促進

とめる **駐輪環境の整備**
基本方針:利用しやすい駐輪環境づくり

いかす **自転車の活用**
基本方針:自転車を活用したまちづくり


2. 令和8年度 事業費及び事業内容

事業費 (単位:百万円)

区 分		令和8年度		令和7年度	
はしる	自転車通行空間整備関連	517		545	
とめる	駐輪場整備関連	1,978	282	1,630	212
	放置自転車対策関連		1,696		1,418
まもる		224		237	
合 計		2,719		2,412	


○はしる ～自転車通行環境の創出～

(単位:百万円)

事業	令和8年度	事業内容
自転車通行空間の整備	517	<p>歩行者や自転車、自動車の安全・安心を確保するため、自転車通行空間を整備する。</p> <p>○(主)志賀島和白線(海の中道) (継続) ○(県)浜新建堅粕線(妙見通り) (継続) ○(市)博多駅五十川線(竹下通り) (継続)</p> <p>など</p> 

○とめる ～駐輪環境の整備～

(単位:百万円)

事業	令和8年度	事業内容
駐輪場の整備	282	<p>まちづくりの進展の機会などを捉え、駐輪場の整備を行う。</p> <p>○九州大学箱崎キャンパス跡地周辺の駐輪場※(暫定供用) (新規) ※官民共同駐輪場として整備運営予定</p> <p>○博多駅東駐輪場 (新規)</p> <p>など</p> 
駐輪場の管理運営	1,696	○指定管理料等、施設修繕 など
計	1,978	


○まもる ～自転車利用の適正化～

(単位：百万円)

事業	令和8年度	事業内容
放置自転車対策	219	○撤去・保管所運営・街頭指導 ○区自転車対策業務の本庁一元化の検討
その他	5	○HP等による啓発
計	224	

○いかす ～自転車の活用～

(単位：百万円)

事業	令和8年度	事業内容
福岡シェアサイクル事業	-	○シェアサイクル事業の促進 シェアサイクルポートとして、 公共施設等を有効活用し、 都市の回遊性向上や、公共交通 の機能補完などを図る。 

(参考) 福岡市自転車活用推進計画 (R7～R10) の状況 ※道路下水道局関連分を抜粋

成果指標			令和6年度末 計画当初	令和7年度末 見込	令和10年度末 目標	令和8年度 事業量	令和8年度末 予定
はしる	自転車通行空間 整備延長	km	152.0	163.6	190	12.7	176.3
	駐輪場整備台数※1	台	-	0	600	0	0
とめる	路上駐輪機台数※2	台	3,928	3,768	3,600	▲ 99	3,669
	駐輪場の利用満足度	%	89.5	88.0	現状値より向上 (令和6年 89.5%)	-	現状値より向上
まもる	自転車放置率	%	1.1	1.0	現状値より改善 (令和6年 1.1%)	-	現状値より改善
いかす	サイクリングルートにおける 自転車通行空間整備率※3	%	21	25	25	2	27
	シェアサイクル ポート数※4	か所	806	914	1,000	70	984
	シェアサイクル ポート設置駅数※4	駅	42	48	59	4	52

※1：新設のみを対象

※2：路上駐輪場の設置台数を減らしていく指標

※3：福岡市域の福岡県広域サイクリングルートにおける「福岡・糸島ルート」と「直方・宗像・志賀島ルート」の整備率。

※4：福岡シェアサイクル事業におけるポートに限る。

無電柱化の推進

1. 福岡市無電柱化推進計画（R3～R7）※1

※1:国において、令和8年度初頭に、新たな「無電柱化推進計画」が策定されることから、本市においても新しい福岡市無電柱化推進計画の策定に着手している。

①取組姿勢・官民の役割分担

防災性の向上、安全性・快適性の確保、良好な景観形成等の観点から、道路管理者、電線管理者及び開発事業者等が連携し、適切な役割分担により、無電柱化を推進する。

②対象路線及び計画延長

無電柱化は工事や地上機器の設置場所等について、沿道住民等の合意形成が重要である。そのため、道路の整備・改良に合わせた事業実施を基本に、以下の道路について優先的に無電柱化を推進する。

計画期間中に約48.9km^{※2}の無電柱化に着手する。

<防災>

福岡市が管理する緊急輸送道路及び幹線道路等 約34.4km

<安全・円滑な交通確保>

福岡市バリアフリー基本計画における生活関連経路等 約2.8km

<景観形成・観光振興>

地域の特性を活かした良好な景観形成や観光振興のため、街並みや自然環境などとの調和を図り、地域の魅力を高める必要がある道路 約2.5km

<まちづくり等に合わせた無電柱化>

区画整理や開発行為等の面整備事業における道路 約13.8km

※2:複数項目に該当する路線もあるため、合計と一致しない。

③指標

市街地等（DID地区）の緊急輸送道路の無電柱化着手率を34%（R2年度末）⇒45%（R7年度末）とする。

	令和2年度末 計画当初	令和7年度末 (見込)	令和7年度末 目標
市街地等（DID地区）の 緊急輸送道路の無電柱化着手率（%）	34	40.5	45

2. 令和8年度 事業費

	令和8年度	令和7年度
事業費（百万円）	2,230	1,786

3. 令和8年度の主な整備箇所

（市）箱崎146号線、（市）箱崎久原線、（市）百道通線

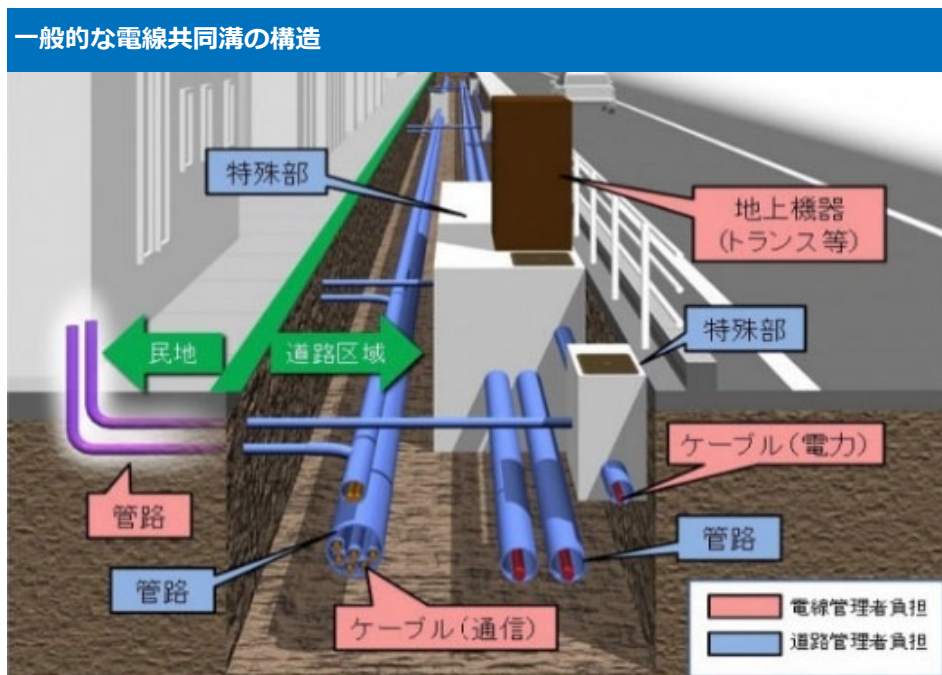
<参考>

○整備事例



志賀島和白線（東区）

○電線共同溝のイメージ



交通安全対策

1. 目的

誰もが安心して歩ける歩行空間を確保するため、通学路等の交通安全対策を進めるとともに、車両走行情報のビッグデータを活用した事故防止対策（ハンプの設置等）等の交通安全対策を推進します。

2. 令和8年度事業費

（単位：百万円）

施 策	事 業 費	
	令和8年度	令和7年度
交通安全施設整備	2,699	2,523

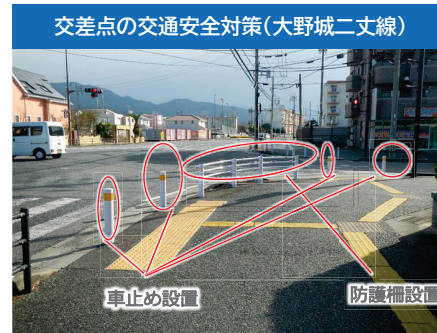
3. 事業内容

下記事業については、令和8年度に取り組む主な事業である。

施 策	内 容
通学路の交通安全対策	<p>〈事業概要〉 「福岡市通学路交通安全対策プログラム」に基づき、学校、保護者、地域、各関係機関が連携・協力し、通学路の安全対策を進める。</p> <p>〈R8年度事業内容〉 ・歩道整備、路側のカラー化 等</p>
歩行空間の確保による交通安全対策	<p>〈事業概要〉 市民に身近な道路の安全性を高めるために、歩行空間の整備を進める。</p> <p>〈R8年度事業内容〉 ・路面標示、区画線、防護柵の設置、路側のカラー化 等</p>
ゾーン30プラスの推進 (ビッグデータを活用した交通安全対策)	<p>〈事業概要〉 車両走行情報のビッグデータを活用して設置するハンプ等と車両の速度規制を組み合わせた、ゾーン30プラスを推進する。</p> <p>〈R8年度事業内容〉 (新規) 博多区：春住地区、月隈地区 早良区：飯倉中央地区 南区：大橋1丁目地区</p> <p>(継続) 東 区：舞松原地区 博多区：三筑・諸岡地区 中央区：高宮校区Ⅱ地区 南 区：大橋2丁目地区 早良区：小田部地区</p>

《参考》

○整備イメージ



治水対策事業（主要な河川整備）

1. 目的

雨水排水の根幹である河川の改修を推進することで、大雨による河川の氾濫を防止し、浸水被害の軽減を図る。

2. 事業概要

二級河川 (都市基盤河川)	河川名	周船寺川、金屑川
	全体事業延長	12,995m
	全体事業費	約416億円
準用河川	河川名	若久川、香椎川
	全体事業延長	1,880m
	全体事業費	約81億円

3. 進捗状況

項目	令和8年度 改修延長(m) (予定)	令和7年度末 改修延長(m) (見込)	令和8年度末 (予定)	
			改修延長(m)	改修率(%)
二級河川 (都市基盤河川)	54	8,818	8,872	68.3%
準用河川	730	0	730	38.8%

4. 令和8年度 事業費及び事業内容

事業費・進捗率

(単位：百万円)

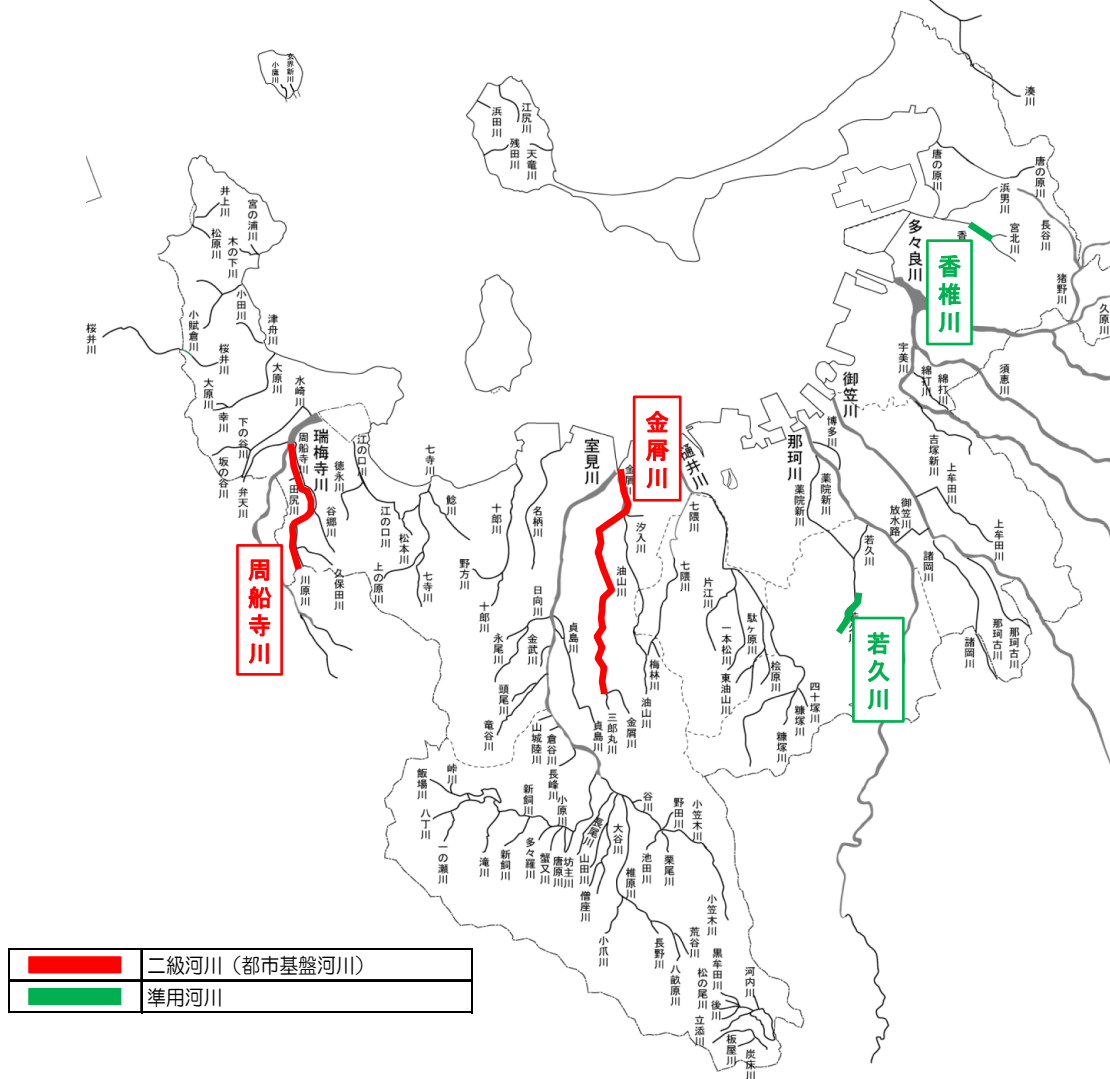
項目		令和8年度 (予定)	令和7年度末 (見込)	令和8年度末 (予定)
二級河川 (都市基盤河川)	事業費	255	36,272	36,527
	進捗率(%)	—	87.3%	87.9%
準用河川	事業費	343	5,564	5,907
	進捗率(%)	—	68.6%	72.8%

事業内容

項目	内容
二級河川 (都市基盤河川)	<ul style="list-style-type: none"> ・周船寺川 護岸工64m、負担金等 ・金屑川 護岸工44m等
準用河川	<ul style="list-style-type: none"> ・若久川 低水路築造工10m ・香椎川 付帯施設工等

5. 位置図

治水対策事業河川



■	二級河川（都市基盤河川）
■	準用河川

6. 各河川ごとの進捗状況

項目	事業期間	令和8年度末 進捗状況（予定）						
		全体事業延長 (m)	改修率（対延長）		全体事業費 (百万円)	進捗率（対事業費）		
			改修延長(m)	改修率(%)		事業費(百万円)	進捗率(%)	
二級河川 (都市基盤河川)	周船寺川	H13~R10	4,580	2,328	50.8%	15,569	12,077	77.6%
	金屑川	S46~R19	8,415	6,544	77.8%	26,000	24,450	94.0%
	合計		12,995	8,872	68.3%	41,569	36,527	87.9%
準用河川	若久川	H31~R22	1,160	10	0.9%	2,290	85	3.7%
	香椎川 (地下河川)	H26~R8	720	720	100.0%	5,822	5,822	100.0%
	合計		1,880	730	38.8%	8,112	5,907	72.8%

若久川はこれまでの調査検討の結果をふまえて事業期間と全体事業費を、香椎川は労務単価上昇により全体事業費を見直し
若久川（変更前：H31~R9、1,852百万円）、香椎川（変更前：5,721百万円）

